

奨学生との結びつき

奨学金証書

支援する奨学生の写真と報告書が年に1回8月～9月にかけて、EDFから届きます。奨学生の成長を3年間毎年届く写真で確認していただけです。



ニュースレター

EDFで行った活動の報告をはじめ、特に在タイ日本人・日本企業の奨学金提供者がお気軽に参加できるチャリティーイベントなどのご案内を中心にしたニュースレターを年に4回(4半期毎)にお送りいたします。



現地の奨学生の学校と家庭訪問

ご自分が支援している生徒の学校と家庭を実際に見てみたい方に現地訪問の手段(交通手段、現地のスタッフなど)のアレンジをします。

文通

ドナーが手紙のやり取りで自分の支援している生徒と交流できます。タイは中学で英語を学びますので簡単な英語で可能。日本語で手紙を書く方に翻訳サービスもご利用いただけます。

奨学金以外のプロジェクト

奨学金以外、校内の開発的プロジェクトを実施しています。

- ・ 一校一事業(OSOP) —タイ東北の中・高校を対象に地域資源活用事業を助成(有機農業や給食提供他)
- ・ 飲料水
- ・ 学校内の施設(図書室、トイレ等)設置・改善
- ・ 自転車通学奨学金と自転車の提供
- ・ ICT開発—コンピューターセットの設置と研修

*上記以外でも、ご提案により各種特別プロジェクト推進のご相談を承ります。



清潔な飲み水を毎日飲める

本に接する機会を提供

農業生産は学校昼食及び販売可能

支援者の声



タレント
向井亜紀さん

長く支援すること。一人でも多くの方に支援いただくこと。それが大切なことです。

2000年に癌による子宮摘出手術を受け、2003年に代理出産で双子の男の子を授かるまでの長い心の戦いの中で得た「子どもを大切に思う気持ち、彼らの未来や夢を応援する気持ちを忘れないでおこう」という考えを形にするため、私はダルニー奨学金をはじめました。支援ができるとなると嬉しくて、最初はおこづかいをためて何十人も

の子どもを支援しようと思っていたのですが、主人(元格闘家の高田延彦氏)と「ある年は100人分でも翌年はゼロというのではなく、長く支援することに意味があるのではないか」と話し合いました。今では、私個人の支援以外に、彼が経営する高田道場にも募金箱を置いて、少しずつ支援し続けています。

ダルニー奨学金の元奨学生



氏名 : ソピダー・スックプラサート
元 : スリン県EDFの奨学生、中学1年~3年(1994年~1996年)
現在 : Chulabhorn International College of Medicineタマサート大学医学部教員

田舎に住む貧しい子供にこのように素晴らしい機会を与えてくださったことに対して、奨学金の支援者の方に心からお礼を申し上げます。奨学金をもらってから、もっと勉強を頑張りたいという気持ちで、自分の夢に向けて努力しています。当時、私は母と一緒に暮らしていました。母は一人で家族

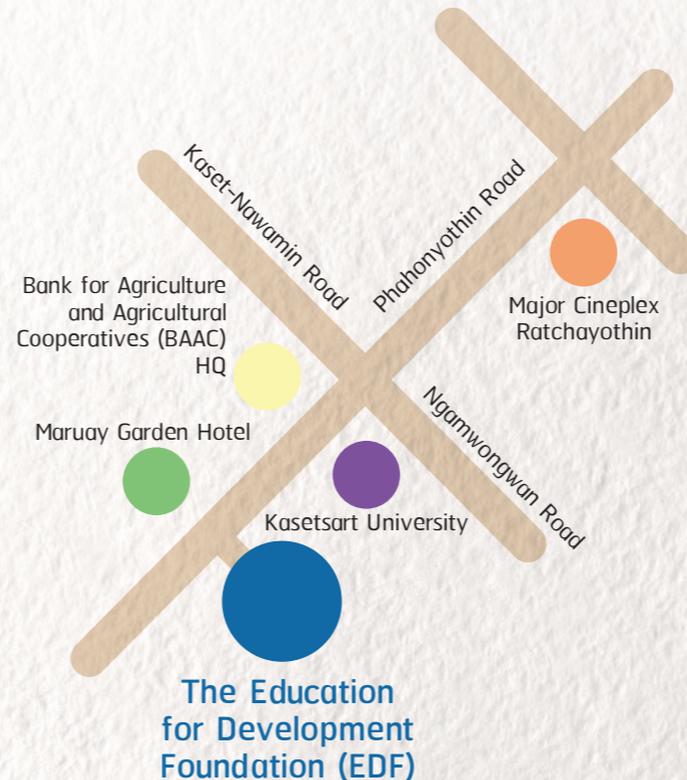
を養ってくれました。私は中学・高等卒業後、コンケン大学教育学部に進学しました。大学在学中は、タイ学費ローン基金機構から奨学金を受け、家庭教師のアルバイトもしながら、できる限り家計に負担をかけないように勉強を続けた結果、同大学大学院(生科学科理学部)と博士課程(生化学部)を卒業することが出来ました。そのきっかけを与えてくれたのが中学を支援していただいた「ダルニー奨学金」です。本当に心から感謝しています。

奨学生担当者の先生の声



氏名 : ソムキット・カムガンワン先生
現在 : プリラム県バーンペンブウアイ校

教育レベルの低い両親は田舎にいる高齢者に子どもを預け、都会に出稼ぎに行きます。子供たちは身近に勉強に関する相談できる人がいないため、授業を欠席、最終的に学校を退学してしまうことがよくあります。子供たちに基礎教育を提供できれば、この問題が解決されると私は信じています。「ダルニー奨学金」は経済的に恵まれない家庭の子供たちに対してとても役に立っていると思います。頂いた奨学金を教科書や学校に必要な文房具などを使用され、家計への大きな助けとなります。



The Education for Development Foundation (EDF)

50 Kasetsart University Alumni Building, 3rd Fl.

Phaholyothin Rd., Jatujak,

Bangkok 10900, THAILAND

Tel : (+662) 579-9209-11

(+662) 942-8538

Fax : (+662) 940-5266

E-mail : public@edfthai.org

www.edfthai.org/jp



子どもの就学の夢を叶えるために、「ダルニー奨学金」が生まれました。

こんな笑顔を
みんなの力で...

